

環境研究総合推進費令和 7 年度事後評価個票

研究プロジェクト番号	S-18-3
研究プロジェクト名	自然災害・水資源分野を対象とした気候変動影響予測と適応策の評価
研究実施期間	2020（令和 2）年度～2024（令和 6）年度
テーマ代表機関名	茨城大学
テーマリーダー名	横木 裕宗

1．評価結果

評価ランク：S

2．委員の指摘及び提言概要

海面上昇、高波・高潮、河川氾濫、内水氾濫、といった洪水氾濫・浸水による社会経済的な影響について、将来人口や住居移転、海岸、植生・田んぼ等を考慮した適応策の効果推計を考慮に入れて、可能な限り 1km メッシュで評価するという意欲的な課題に取り組み、精緻な地図や浸水に関する VR を作成するなど国民に理解しやすい方法で成果が提供されたことを高く評価する。水資源のサブテーマでは、他の分野の適応策となる水利用行動変化を組み込んだ複合的なリスクを含んだ水需給悪化リスクを推定しており、今後の適応政策の立案・検討に向けて有意義な知見を提供している。今後、地方自治体で対応を進めるための影響予測と適応策のオプションをさらに明らかにし、特に時間降水量が想定を超える河川が非常に多く発生することが予想されることから、レーダー技術などを組み合わせた河道粗度指標の算定の可能性なども検討していただき、全国各地の自治体ごとに網羅的な評価が実施されることが期待される。